

くろゆり通信



第42号 平成19年1月発行
 発行者 国土交通省中部地方整備局
 天竜川上流河川事務所
 小渋川砂防出張所
 小渋川砂防安全協議会

塩の里の由来



古代諏訪族の人たちが大鹿村へ南下し、鹿などの動物が集まる塩泉を発見しました。それ以来鹿のいる里・塩の湧き里として鹿塩の地名が誕生しました。南北朝時代には後醍醐天皇の第八皇子「宗良親王」が30年余お住まいになり、多くの警護のための城が築かれた。塩釜を見下ろす高台には「するぎ城」があり大切な塩を守ったと言われています。

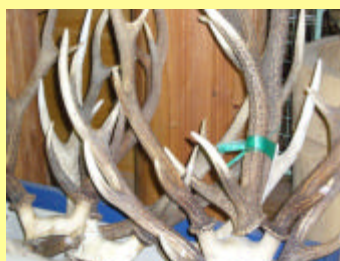


人・物を中心に交流する塩の里
 おいでなんしょ
 大鹿の名産をどうぞ
 入谷の入り口で
 は、村が立ち鹿塩
 塩の里が設立した
 の里ががたに
 入谷の入り口で
 は、村が立ち鹿塩
 塩の里ががたに
 の里ががたに

(塩の里パンフレットより)

塩釜と取れた塩

特産品の数々

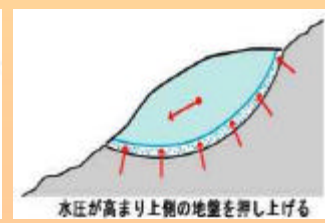
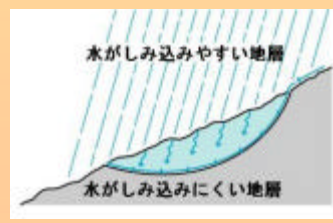
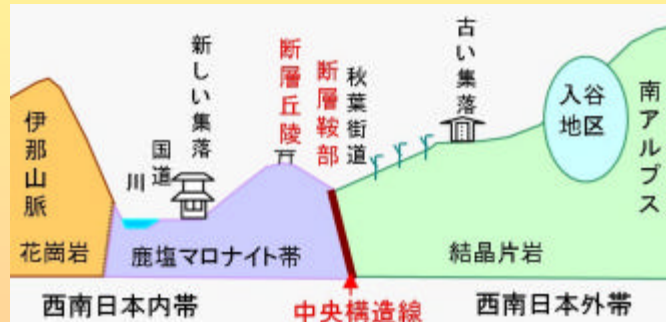


入谷の地質を調べると

地質の特徴

入谷の地質の様子

入谷地区は活断層である中央構造線の南側、約4~5キロに位置し、地中の岩盤は結晶片岩と呼ばれる変成岩であり、表面は長年の造山活動により崩壊し堆積した岩石が点在する。更にその下は粘土を噛んでいる破碎された岩とレキの層となっている。現在も南アルプスは1年4mm隆起していることや、堆積した岩石の間を浸透し、複雑な地層に溜まった水が引き金になり地すべりを誘発しています。



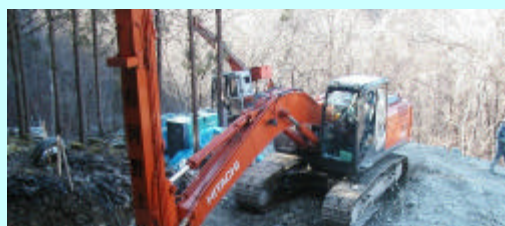
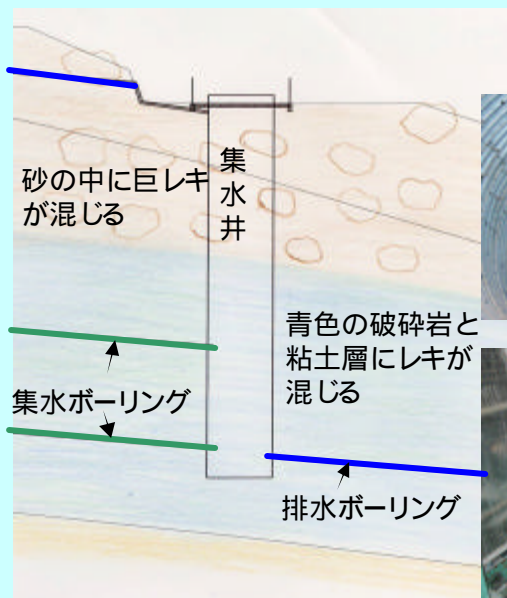
地すべり発生のメカニズム
 雨水や地下水が、しみ込みにくい地層とその上のしみ込みやすい地層の間に入り込むことが、地すべり発生の主な原因です

工事現場の紹介

平成18年度天竜川水系 入谷地すべり対策工工事 工期 平成18年8月19日 ~ 平成19年3月20日

集水井の掘削状況

排水ボーリング状況



この工事は、集水井を掘削し、集水ボーリングで、地中に溜まった水を集水井に集めて、排水ボーリングで地表に排水して、水位を低下させ、地すべりを抑止するための工事です。

工事中は安全に十分注意し工事を進めてまいります。無事故で工事が完了出来るように気を引き締めてまいりますので皆様の御理解と御協力をお願いします。

施工 株式会社 伊原工務店 現場事務所 TEL 0265-39-1075



現場代理人
 田中 陸夫